

# ステークホルダーからのご意見



環境・社会報告書2007および東京エレクトロングループの事業内容について、山梨県庁 中込 雅 様よりご意見をいただきました。

山梨県商工労働部  
産業立地室 産業立地推進課 課長 中込 雅 様

## (1)環境・社会報告書の感想

「環境・社会報告書2007」を拝読しました。東会長様が「地球環境は限界点に達したのではないか」という人類の危機を直視しつつ、「環境負荷が少なく、経済性も生産性も高い装置や技術を提供することが当社グループの使命」という明確な目標を掲げられている点が印象に残り、日本を代表する企業である東京エレクトロン様の現代社会の課題を解決しようとする強い姿勢と、社会貢献への凜とした決意を感じ取ることができました。

また、「誇り」「自覚」「チャレンジ」といったTELバリューを世界中のグループ社員と共有されることは、社員の方々のモチベーションの高さにつながり、ステークホルダーの皆様の満足度を高めるばかりでなく、企業価値の向上につながるに違いありません。

## (2)EHS活動に関する感想

EHS活動については、データに基づいた現状分析を踏まえ、その活動を自社グループ内だけでなく取引先や事業所が立地する地域にまで広げようとして取り組まれており、企業が社会の中で責任ある役割を果たそうとする方針の表れであると感じました。

企業ミッションの第一は、利益の追求であると考えておりましたが、「ステークホルダーとの座談会」において「利益を追求していけば環境負荷も減る」と論じられている部分を拝読し、企業による利益の追求と社会貢献は相反しないことがよく理解できました。

また、社会とのコミュニケーションを大切にされ、産業人材の育成を目的とした地元の学校の体験学習を実施し工場見学を受け入れることは、子どもたちのモノづくりに対する興味を深め、未来の山梨の担い手を育成する意義深い試みであり、人材の確保が課題とされる本県としても大変ありがたいと考えております。

## (3)山梨県から見た東京エレクトロンの印象

東京エレクトロン株式会社様は、その半導体製造装置やFPD製造装置が世界のトップシェアを獲得している優良企業ながら、山梨の地に主要な工場と研究施設があり、県民の誰もが親

しみを持っている企業であります。山梨県内から多くの従業員を直接雇用していただいているほか、協力企業も多数県内に存在し、山梨県の機械電子産業の頂点にある企業の一つとして、まさに山梨県内に広く、深く根を張っている大樹であります。

このような、リーディングカンパニーが山梨に立地し、環境と安全に配慮した新たな装置を次々と生み出して日本各地や世界各地に大きく翼を広げていくことは、本県のイメージアップや経済発展にも大きく貢献するものと感謝申し上げる次第です。

## (4)東京エレクトロンへの要望・期待など

今、世界はそのエネルギー源を化石燃料から脱炭素化・新エネルギーへとシフトする過渡期にあります。環境への配慮は、次世代に持続可能な社会を引き継ぐという観点から、製造業はもちろん人類のすべての活動において必要であります。

山梨県では、地球温暖化対策や循環型社会の形成、クリーンエネルギーの開発と活用、さらには景観対策も含めた美しい県土づくりなどを大きな課題と捉えております。

東京エレクトロン株式会社様が、EHS活動を一層推進されることで、地球温暖化の解決に大きな役割を果たされることは、本県がこれから進もうとする方向と軌を一にするものであり、本県としてもできる限り協力をさせていただきたいと考えております。

## ご意見を受けて

激励のお言葉をありがとうございました。東京エレクトロンATは、今後も環境と安全に配慮した活動を続けてまいります。山梨県が進めている地球温暖化防止対策や循環型社会の形成、また景観対策を含めた対策は、今後の企業のあるべき方向性と重なるところが大いにあります。

弊社も山梨県の企業として地域社会に貢献していきたいと考えております。

東京エレクトロンAT株式会社  
代表取締役社長 原 功三